

# NPR

## 第122期 報告書

2017年4月1日 ▶ 2018年3月31日

### Contents

株主の皆様へ

セグメント別事業概要

連結財務諸表

トピックス

会社情報



日本ピストンリング株式会社

証券コード：6461



取締役社長 山本 彰

## ごあいさつ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当グループ2018年3月期の事業概要等についてご報告申し上げます。

当連結会計年度における我が国経済は、雇用や所得環境の改善が持続し、緩やかな回復基調が続きました。また、世界経済は欧米での順調な回復に加え、中国をはじめとするアジアでも持ち直しの動きが見られ、総じて堅調に推移しました。当グループは、2018年3月期を最終年度とした

第六次中期経営計画にて、「売上高550億円以上、営業利益率7%以上」を目標値と定め、市場構造や顧客ニーズに迅速に対応し、事業基盤の拡充による企業価値向上に取り組んでまいりました結果、売上高、営業利益率とも目標値に到達することができました。

今年度からスタートする第七次中期経営計画では、『「変化に強いモノづくり」による企業価値の向上～マーケティング&イノベーションによる100年企業の土台作り～』を基本方針とし、その実現に向けて取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 当期の業績についての概要

当グループが関連する自動車業界におきましては、国内や中国を含むアジア等の新興国では景気が堅調に推移し、世界の自動車生産台数は緩やかな増加となりました。

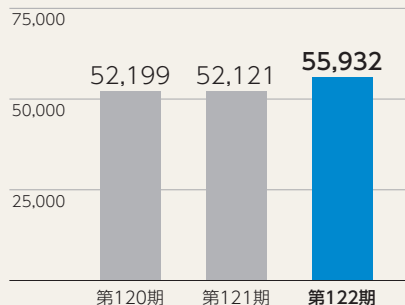
当グループにおきましては、国内外自動車メーカーへの拡販を推しすすめたことにより、売上高は559億32百万円となり、前年同期比7.3%増と過去最高となりました。

損益面では原材料の高騰影響等がありましたが、増産や

## 決算ハイライト

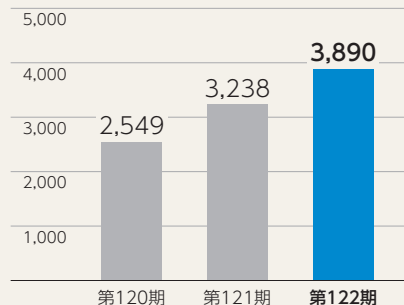
### 売上高

(単位：百万円)



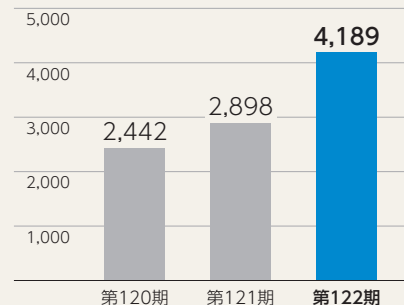
### 営業利益

(単位：百万円)



### 経常利益

(単位：百万円)



原価低減の効果により営業利益は38億90百万円と前年同期比20.2%増、経常利益は為替差益の発生により41億89百万円と前年同期比44.5%増となりました。なお、親会社株主に帰属する当期純利益は、一時的な法人税等調整額の増加や特別損失の発生により22億86百万円と前年同期比5.3%減となりました。

## 次期の見通しについて

新興国や欧米での政策等により不透明な状況にあるものの、世界経済は全体として緩やかな回復が見込まれております。

当グループが関連する自動車業界では、新興国を主体とした海外市場での需要増を背景に自動車生産台数の増加は続くものと思われまます。また、世界的な環境問題への対応強化から、低燃費、排ガス規制等へのニーズは一層高まるものと考えられます。

このような状況のなか、当グループは国内外自動車メーカーへの拡販や革新的モノづくりによる原価低減を推しすすめることにより、2019年3月期の売上高は570億円、営業利益41億円、経常利益41億円、親会社株主に帰属する当

期純利益24億円を予想しております。

## 今後の事業展開について

当グループは、更なる成長をはかるため、技術提案型営業の強化、革新的工法によるモノづくりの推進、更には、新製品開発への継続的取り組みを推しすすめることにより、2021年3月期を最終年度とした第七次中期経営計画に取り組んでおります。

### 【基本方針】

「変化に強いモノづくり」による企業価値の向上  
～マーケティング& イノベーションによる  
100年企業の土台作り～

### 【目標値（2021年3月期）】

売上高：580億円以上、営業利益率7.5%以上

### 【重点施策】

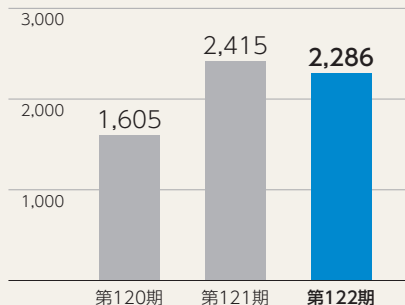
- (1) 国内外での技術提案型営業の強化
- (2) 革新的モノづくりの追究
- (3) 新製品開発の強化
- (4) 人材育成強化による「世界最高品質の追求」
- (5) C S R活動の継続的推進

## 配当について

当期の配当につきましては、業績に応じた適切かつ安定的な利益配分を考慮して、1株につき5円増配の70円とさせていただきます。

次期の配当につきましては、株主の皆様への更なる利益還元機会の充実を図るために、中間配当を実施することとし、1株につき年間75円（中間30円、期末45円）を予定させていただきます。

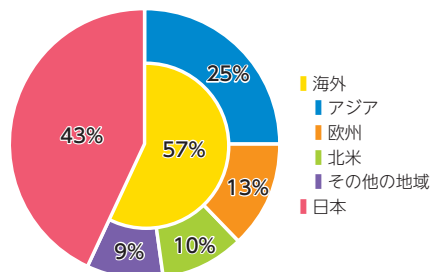
親会社株主に帰属する当期純利益（単位：百万円）



## 地域別売上高構成比

海外売上高：319億7百万円

国内売上高：240億25百万円



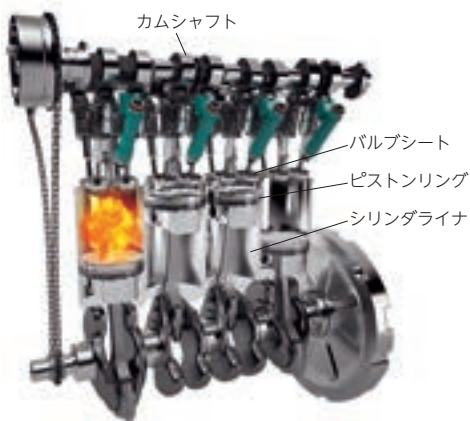
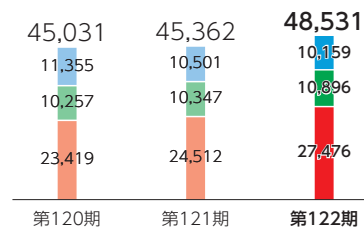
## 自動車 関連製品 事業

(売上高構成比)  
86.8%

国内外自動車メーカーへの拡販を推しすすめたことにより、売上高は、485億31百万円と前年同期比7.0%増となりました。

### 売上高の推移

(単位：百万円)



### ピストンリング

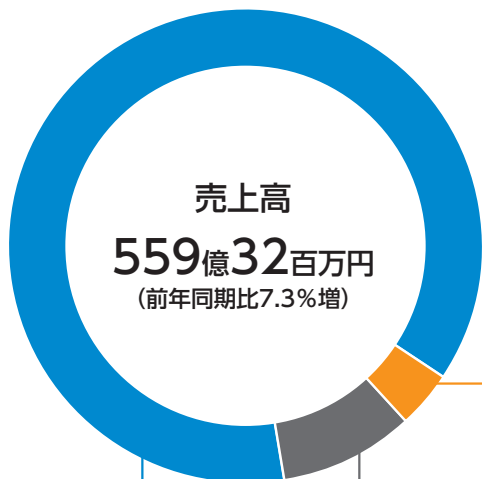
北米や中国での新規立上がり等により、売上高は274億76百万円と前年同期比12.1%増となりました。

### バルブシート

国内及び海外向け受注の増加等により、売上高は108億96百万円と前年同期比5.3%増となりました。

### その他自動車関連製品

一部製品の見直しにより、売上高は101億59百万円と前年同期比3.3%減となりました。

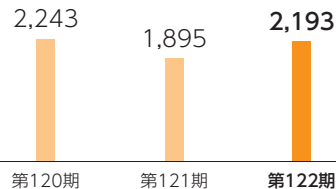


## 船用・ その他の 製品事業

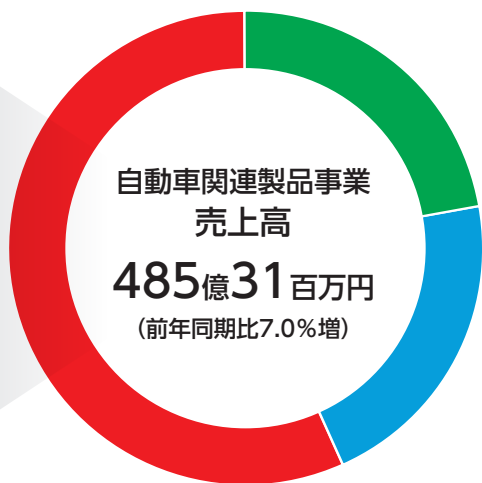
(売上高構成比)  
3.9%

### 売上高の推移

(単位：百万円)



産業機械用製品等の需要拡大により、売上高は21億93百万円と前年同期比15.7%増となりました。

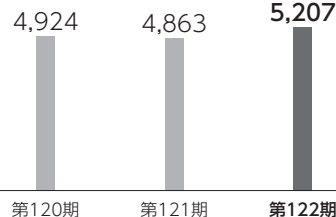


## その他

(売上高構成比)  
9.3%

### 売上高の推移

(単位：百万円)



商品等の販売事業を含むその他における売上高は、52億7百万円と前年同期比7.1%増となりました。

## 解 説

### 1 資産 (6億15百万円減)

「投資有価証券」16億47百万円減、「有形固定資産」12億74百万円減に対し、「受取手形及び売掛金」16億34百万円増、「たな卸資産」4億14百万円増、「現金及び預金」2億77百万円増などによるものです。

### 2 負債 (22億15百万円減)

「退職給付に係る負債」17億33百万円減、「営業外電子記録債務」6億22百万円減、「有利子負債」5億32百万円減に対し、「電子記録債務」3億51百万円増、「繰延税金負債」1億46百万円増などによるものです。

### 3 純資産 (15億99百万円増)

「利益剰余金」17億51百万円増、「非支配株主持分」1億28百万円増に対し、「その他有価証券評価差額金」3億66百万円減などによるものです。

この結果、自己資本は317億89百万円となり、自己資本比率は47.8%となりました。

## 連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

	前期末 (2017年3月31日現在)	当期末 (2018年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	25,824	27,952
固定資産	41,310	38,567
有形固定資産	31,700	30,425
無形固定資産	791	726
投資その他の資産	8,819	7,415
<b>1 資産合計</b>	<b>67,135</b>	<b>66,519</b>
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	22,619	21,952
固定負債	13,633	12,084
<b>2 負債合計</b>	<b>36,252</b>	<b>34,036</b>
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	27,168	28,918
資本金	9,839	9,839
資本剰余金	5,875	5,875
利益剰余金	11,781	13,533
自己株式	△ 328	△ 329
その他の包括利益累計額	3,167	2,871
新株予約権	56	74
非支配株主持分	490	619
<b>3 純資産合計</b>	<b>30,883</b>	<b>32,482</b>
負債・純資産合計	67,135	66,519

## ■ 連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	前 期 (自 2016年4月 1日 至 2017年3月31日)	当 期 (自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日)	
売上高	52,121	55,932	
売上原価	39,686	42,406	
売上総利益	12,435	13,526	
販売費及び一般管理費	9,196	9,635	
営業利益	3,238	3,890	4
営業外収益	454	654	
営業外費用	794	355	
経常利益	2,898	4,189	5
特別利益	42	840	
特別損失	—	1,136	
税金等調整前当期純利益	2,941	3,894	
法人税、住民税及び事業税	796	1,087	
法人税等調整額	△ 342	391	
当期純利益	2,487	2,415	
非支配株主に帰属する当期純利益	72	128	
親会社株主に帰属する当期純利益	2,415	2,286	6

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	前 期 (自 2016年4月 1日 至 2017年3月31日)	当 期 (自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,434	6,094
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,023	△ 4,856
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 751	△ 1,104
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 138	143
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	521	277
現金及び現金同等物の期首残高	4,112	4,634
現金及び現金同等物の期末残高	4,634	4,911

### 解 説

#### 4 営業利益 (20.2%増)

原材料の高騰影響があったものの、増産や原価低減の効果により増益となりました。

#### 5 経常利益 (44.5%増)

営業利益の増加に為替差益が加わり、増益となりました。

#### 6 親会社株主に帰属する当期純利益 (5.3%減)

一時的な法人税等調整額の増加や特別損失の発生により減益となりました。

## トピック1

### 「名古屋機械要素技術展」にメタモールド製品を出展

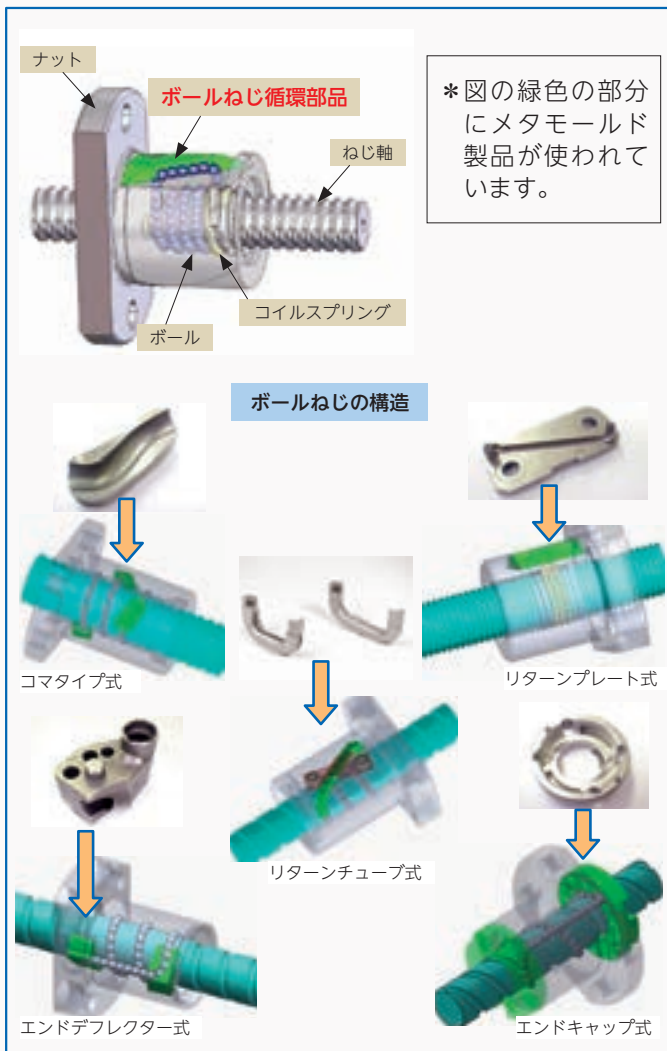
4月11日から13日までポートメッセなごやにて開催された第3回名古屋機械要素技術展にメタモールド（金属粉末射出成形）製品を出展しました。

ボールねじは、電動化に必要な機構部品です。

ニーズに応じて様々なタイプの循環構造にも対応できる技術を有し、多くのお客様から信頼を得ております。

今後は、自動車の電動パワーステアリングや電動ブレーキ、ロボット、工作機械、半導体装置関係に使用されるボールねじの循環部品を重点分野として事業を拡大してまいります。

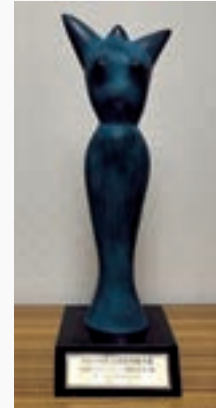
#### ■第3回名古屋機械要素技術展 展示ブース■





## トヨタ自動車(株)『品質管理優秀賞』受賞

当社では、従業員の品質に対する意識を高めることを目的に\***N-ZD運動** (NPR不良ゼロ運動)をグループ全体で取り組んでまいりました。そのグローバルでの取り組みの成果が認められ、『品質管理優秀賞』を受賞しました。



### ※N-ZD運動 (NPR不良ゼロ運動) とは？

2015年度より、当社顧客の満足度を高めるだけでなく、最終ユーザーの安全・安心を保証するためにも、品質改善活動をより体系化すべきと考え、N-ZD運動をスタートしました。この活動は、開発から客先納入に至る全てのプロセスで取組みを実施し、業務品質と製品品質の向上に加えて品質に対する全従業員の意識改革を図り、「世界最高品質」を追求してまいります。



(N-ZD運動ポスター)

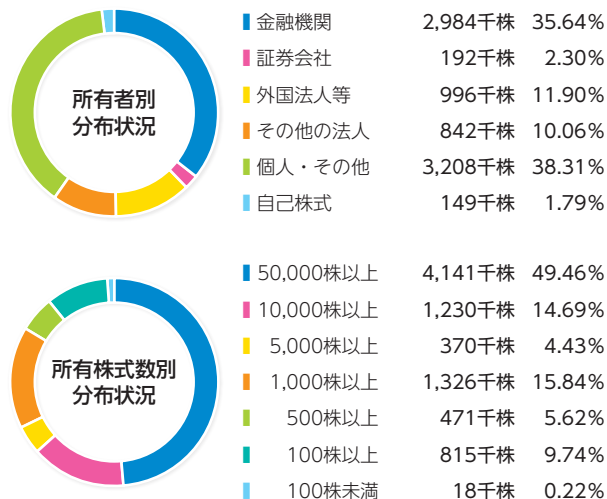
## ■ 会社の概要 2018年3月31日現在

商号	日本ピストンリング株式会社
本社所在地	埼玉県さいたま市中央区本町東5-12-10
設立	1934年（昭和9年）12月20日
資本金	98億39百万円
従業員数	連結：2,996名 個別：683名
主な事業内容	ピストンリング、バルブシートをはじめとした国内外の自動車関連製品・陸船エンジン用組付・補修部品ならびにその他各種部品の製造・販売

## ■ 株式の状況 2018年3月31日現在

発行可能株式総数	19,545,000株
発行済株式の総数	8,374,157株
株主数	7,774名

## ■ 株式分布状況



## ■ 役員 2018年6月27日現在

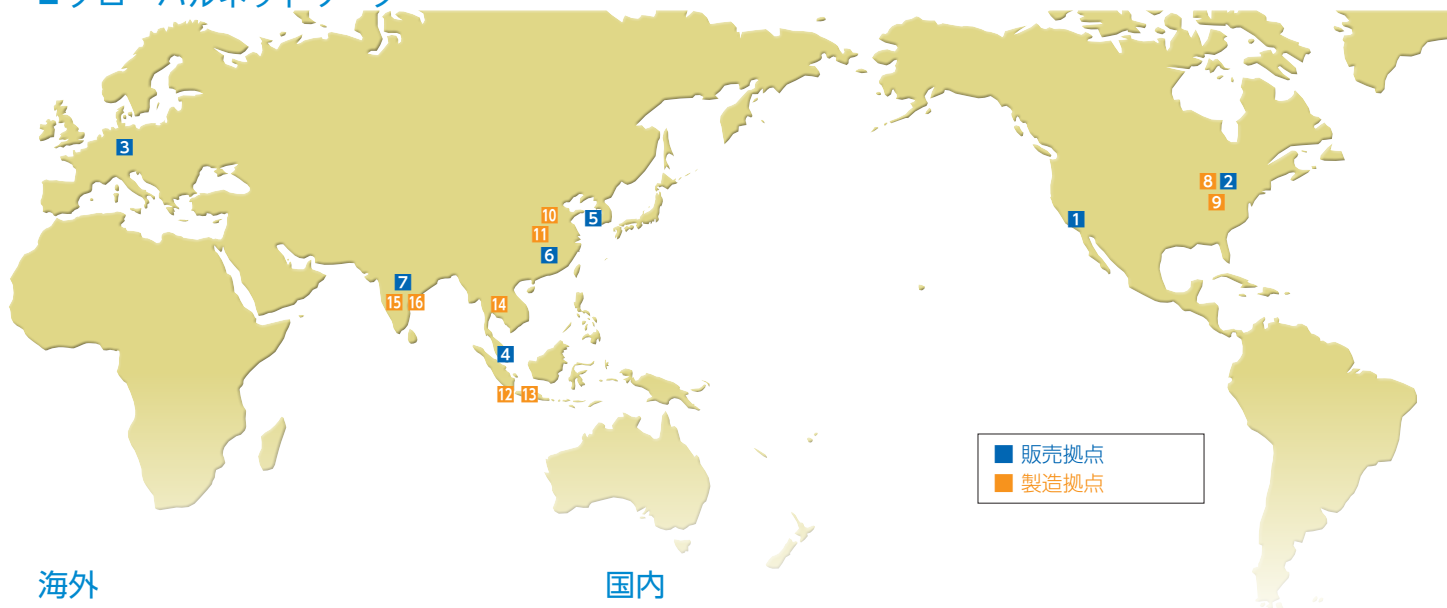
取締役社長	山本 彰	執行役員	太田 一人
取締役副社長	大石 滋	執行役員	津田 信徳
常務取締役	坂本 裕司	執行役員	小川 義孝
常務取締役	高橋 輝夫	執行役員	小野寺義男
取締役	藤田 雅章	執行役員	越場 裕人
取締役	楊 忠亮	執行役員	梶原 誠人
取締役	南雲 良介	執行役員	犬塚 秀昭
取締役	石井 歓	執行役員	西牟田英樹
常勤監査役	佐藤 嘉博		
常勤監査役	平石 巖		
監査役	石橋 博		
監査役	高井 治		
監査役	木村 博紀		

## ■ 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
トヨタ自動車株式会社	552	6.71
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社（信託口）	530	6.45
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社（信託口）	331	4.04
朝日生命保険相互会社	259	3.15
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	195	2.37
日本ピストンリング持株会	165	2.01
株式会社新生銀行	165	2.01
東京海上日動火災保険株式会社	157	1.91
三菱UFJ信託銀行株式会社	148	1.80
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社（信託口5）	139	1.69

(注) 1. 自己株式（149千株）は上記記載から除いております。  
2. 持株比率は自己株式（149千株）を除いて計算しております。

## ■ グローバルネットワーク



### 海外

- 1** NPR of America, Inc.ロサンゼルス営業所 (米国)
- 2** NPR of America, Inc.デトロイト営業所 (米国)
- 3** NPR of Europe GmbH (ドイツ)
- 4** NPR SINGAPORE PTE. LTD. (シンガポール)
- 5** NPR Korea Representative Office (韓国)
- 6** 日環汽车零部件製造 (儀征) 有限公司 広州営業所 (中国)
- 7** NPR AUTO PARTS MANUFACTURING INDIA PRIVATE LIMITED グルガオン営業所 (インド)
- 8** NPR of America, Inc.ミシガン事業所 (米国)
- 9** NPR of America, Inc.ケンタッキー事業所 (米国)
- 10** 日環汽车零部件製造 (儀征) 有限公司 (中国)
- 11** 儀征日環亜新科粉末冶金製造有限公司 (中国)
- 12** PT. NT PISTON RING INDONESIA (インドネシア)
- 13** PT. NPR MANUFACTURING INDONESIA (インドネシア)
- 14** Siam NPR Co., Ltd. (タイ)
- 15** NPR AUTO PARTS MANUFACTURING INDIA PRIVATE LIMITED (インド)
- 16** IP Rings Ltd. (インド)

### 国内

- 本社 048-856-5011
- 17** 東京営業部 048-856-5028
- 18** 国際営業部 048-856-5020
- 19** 名古屋営業部 052-509-1681
- 20** 大阪営業部 06-6303-6451
- 21** メタモール事業推進部 0280-57-1170
- 22** 広島営業所 082-228-2244
- 23** 福岡営業所 092-474-0761
- 24** 仙台営業所 022-237-0731
- 25** 札幌営業所 011-825-1961
- 26** ㈱日本リングサービス 048-856-5201
- 27** 栃木工場 0280-57-1111
- 28** ㈱日ピス岩手・一関工場 0191-31-2111
- 29** ㈱日ピス岩手・千厩工場 0191-53-2011
- 30** ㈱日ピス福島製造所 024-565-5111



※2018.4.1現在

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL. 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL <a href="http://www.npr.co.jp/">http://www.npr.co.jp/</a> ただし、電子公告による公告をすることができない事 故、その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日 本経済新聞に公告いたします。

### お知らせ（ご注意）

1. 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



## 日本ピストンリング株式会社

〒338-8503 埼玉県さいたま市中央区本町東5-12-10  
TEL. 048-856-5011 FAX. 048-856-5035 <http://www.npr.co.jp/>

## 当社ホームページのご紹介



会社案内、製品紹介をはじめ、最新のIR情報、技術情報、環境への取り組み状況等を適時掲載しております。

<http://www.npr.co.jp/>

